

令和6年度

比布町教育委員会の
権限に属する事務の管理及び
執行状況の点検・評価

比布町教育委員会

はじめに

平成19年（2007年）6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理、及び執行状況について点検・評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することとされました。

このため、町教育委員会では、法の趣旨に基づき、効果的な教育行政を推進するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

令和7年（2025年）7月

1. 目次

(1) 事務・事業点検・評価総括表	
(2) 事務・事業点検評価表	
・総務、学校教育関係	1
・社会教育関係	10
・スポーツ振興関係	17
(3) 教育委員会議開催状況	23

2. 点検及び評価の対象

令和6年度比布町教育推進の重点および令和6年度教育執行方針に基づいて実施した主要事業について、点検・評価の対象としています。

【関連計画項目】中、目標 重点は「令和6年度比布町教育推進の重点」の項目を、執行方針Pは「令和6年度教育行政執行方針」の記載ページを示しています。

3. 点検及び評価の方法

評価方法については、A・B・C・Dの4段階評価としており、その他の評価の手法については、個別の主要事業について、その目的・目標・内容に照らして、期待された成果が得られたか、また、その事業の必要性などを客観的視点で点検し、次の基準で評価しています。

「A」：想定どおりの成果が得られたもの。あるいは、目標（指標）を達成し、今後に向けた取り組みについてもさらなる効果が期待されるもの。

「B」：想定した成果はほぼ得られたが、さらなる改善が必要と考えられるもの。
あるいは、目標（指標）の達成は概ね図られたものの、今後に向けては引き続き解決すべき課題があるもの。

「C」：想定した成果が十分には得られず、見直しなどの検討が必要なもの。

「D」：想定した成果が得られず、早急に見直しなどの検討を進めるべきもの。

令和6年度 事務・事業点検・評価総括表

【学校教育】

事業番号	事務・事業名	事業評価	主な評価・意見
学-1	読解力向上支援事業	A	
学-2	学習塾連携推進事業	A	
学-3	ICT教育環境整備事業	A	
学-4	特別支援教育充実事業	A	
学-5	キャリア教育推進事業	A	部活動の形が変化する中で、町事業の在り方も検討する必要がある。
学-6	英語教育充実事業	A	
学-7	子どもの安心推進事業	A	
学-8	給食内容改善事業（ピピカツ）	A	
学-9	学校施設整備事業	A	

【社会教育・図書館】

事業番号	事務・事業名	事業評価	主な評価・意見
社-1	学習支援事業	B	
社-2	芸術鑑賞事業	A	
社-3	公民館事業	A	
社-4	図書館運営事業	A	開館時間の調査・研究や夏場のクーリングシェルター（暑熱避難施設）としての活用周知について検討願う。
社-5	白寿大学運営事業	A	
社-6	文化財保護事業	B	郷土資料館の改修は、町民の意見を含めた再検討の場が必要と判断する。
社-7	放課後児童健全育成事業	A	

【スポーツ振興】

事業番号	事務・事業名	事業評価	主な評価・意見
スー1	運動による脳の活性化事業 (ピピカツ)	B	継続できる仕組みづくりが必要である。
スー2	地域間交流促進事業	A	
スー3	スポーツ団体支援事業	A	
スー4	冬季スポーツ推進事業	A	スキー教室の開催時期が適しており、家族でのスキー場利用につながっている。
スー5	室内遊び場整備事業	B	
スー6	体育施設整備事業	A	施設の計画的な改修が必要である。

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学-1	読解力向上支援事業	決算額	477,822円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】1重点2② 執行方針P3

【目的】

児童生徒の読解力を確認しながら、きめ細かな指導につなげる。

【目標】

- ・5年生以上の読解力を確認する。
- ・個人ごとの分析表作成、個々の弱点を理解し授業での指導につなげる。

【実施内容】

- ・RST（リーディングスキルテスト）を5～8年生、教員が実施（委託料 272,470円）。
- ・分析結果を活用するため、（一社）教育のための科学研究所の研究員を招へいし、講演会を開催（報償費・旅費等 205,352円）
- ・分析結果を本人、家庭、学校で共有する。

【事業成果】

- ・児童生徒の学力との因果関係が確認されるなど、今後の指導方法、指導体制等を検討する上で、参考となるデータを得ることができた。
- ・民間塾からも講演会に参加いただき、情報を共有することができた。

【次年度への課題・展望】

- ・目標値を数値化するには、高度な分析力と時間が必要である。
- ・結果分析を独自で行うことができれば活用の幅が広がるが、現段階では難しい。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学-2	学習塾連携推進事業	決算額	484,000円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】3重点1② 執行方針P4

【目的】

学校以外での学びに触れる場（補足的な学習サポートの機会）を提供し、学力向上を推進する。

【目標】

- ・学習塾との連携による学校以外の学びの場を提供（2学年以上）する。
- ・保護者への情報提供を実施する。

【実施内容】

- ・練成会グループによるチャレンジゼミの実施（7年生 委託料 484,000円）。
- ・保護者対象の高校入試情報講演会を実施（5年生以上の保護者）。
- ・総合教科へのゲストティーチャー授業の実施（9年生）。

（事業成果）

- ・6年生の春休み時に実施することで、後期課程に向けた学習習慣と学習方法の定着を図ることができた。
- ・近年、大きく変化している高校入試にかかる情報を保護者と共有することで、早い段階からの準備の必要性を伝えることができた。
- ・後期課程の教科において、ゲストティーチャーとして関わり、担当教員以外の大人から学ぶ環境を提供することができた。

【次年度への課題・展望】

- ・タブレット端末使用による安定的な取り組みを継続する。
- ・保護者対象の講演会を参観日等を実施するなど、参加しやすい日程を設定する。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学-3	ICT教育環境整備事業	決算額	220,770円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】1重点6①② 執行方針P5

【目的】

1人1台端末環境および関連機器の整備、支援ソフト等を活用したICT教育環境の向上を目指す。

【目標】

- ・全児童生徒にタブレットを配付する。
- ・全学年で活用する基本ソフトを整備する。

【実施内容】

全児童生徒分のアプリ（ロイロノートスクール）利用料を町費負担した。
(223人分 220,770円)

【事業成果】

- ・全児童生徒が、毎日、授業でタブレット端末を活用できた。
- ・後期課程生徒の持ち帰りを実施し学校の授業と家庭学習を連結できた。

【次年度への課題・展望】

- ・既整備分のタブレット端末更新（令和7、8年度）を予定する。
- ・クラウド化を含めた、ネットワークとセキュリティの整備を推進する。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学-4	特別支援教育充実事業	決算額	25,000円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】 1重点3 執行方針P4

【目的】

支援の必要な児童生徒が安心して学び、成長する場を整備する。

【目標】

- ・特別支援教育支援員を確保（前期5人、後期1人）する。
- ・教育支援委員会の充実を図る。

【実施内容】

- ・特別支援教育支援員の配置（前期5人、後期1人、人件費 総務費支出）。
- ・教育支援委員会の開催（委員会3回、専門部会6回、補助金 25,000円）。

【事業成果】

- ・困り感を持った児童生徒へのきめ細かなサポートが実現できた。
- ・関係機関の連携を強化することにより、日常的な保護者への支援が可能となった。

【次年度への課題・展望】

- ・困り感を持った児童生徒及び保護者への教育相談の充実が必要である。
- ・児童生徒だけではなく、保護者へのアプローチの工夫が必要である。
- ・くるみ保育園が認定こども園となるため、幼児教育のさらなる連携が可能になる。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学-5	キャリア教育推進事業	決算額	3,570,654円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】1重点4 執行方針P4、5

【目的】

生きる力の醸成に必要な経験値を上げるため、様々な出会いの場を提供する。

【目標】

- ・各分野で活躍する人や技術との出会いの場を提供する。
- ・大学生など、より身近な世代の人や考え方との出会いの場を提供する。

【実施内容】

- ・君の夢プロジェクト（5部活、講演会）785,300円
- ・9年生修学旅行（東京都内）1,180,894円
- ・あしてらびっぷの実施（4日間15人参加）1,604,460円

【事業成果】

- ・各分野の一流指導者からの直接指導や共演、経験の場を提供できた。
- ・企業訪問や比布町出身者などとの触れ合いを通じ、将来の目標や職業を考える機会となった。
- ・高校や大学に関する話や現時点での考え方や悩みを共有するなど、身近な世代ならではの交流の場をつくることができた。

【次年度への課題・展望】

部活動地域移行の導入により主たる指導者が教員から地域の指導者に変わりつつある中で、部活動単位で行っている君の夢プロジェクトの実施方法などを検討する必要がある。

【事業評価・意見】

部活動の形が変化する中で、町事業の在り方も検討する必要がある。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学-6	英語教育充実事業	決算額	5,596,800円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】1重点5 執行方針P5

【目的】

グローバル社会に適応するための英語教育環境を整備する。

【目標】

- ・実践的な英語に触れる環境を整備（ALT1人配置）する。
- ・前期課程の外国語授業を充実（英語専科講師1人配置）する。

【実施内容】

- ・英語指導助手（ALT）を配置（1人、委託料5,596,800円）した。
- ・英語専科講師を配置（1人、道費非常勤講師）した。

【事業成果】

- ・毎時間ネイティブの英語に触れることで、実践的な訓練ができた。
- ・英語の指導に不安を抱える前期課程教員が多い中、有資格者が授業を担当することで、英語力の向上および後期課程へのスムーズなつながりができた。
- ・8年生の英会話教室を開催し、授業との連携による日常会話の習得を強化できた。

【次年度への課題・展望】

- ・放課後におけるALTの活用方法を検討する。
- ・英語専科講師を確保する。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学一7	子どもの安心推進事業	決算額	一円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】2重点3 執行方針P6～7

【目的】

子どもが安心して成長できるよう、いじめ防止・不登校・児童虐待への対応体制を整備する。

【目標】

- ・いじめの防止および早期認知、対応が可能な体制を整備する。
- ・不登校児童生徒および家族への支援体制を整備する。
- ・児童虐待への迅速な対応を目指した関係機関との連携を強化する。

【実施内容】

- ・いじめアンケートを実施（2回）した。
- ・スクールソーシャルワーカー（一部道補助）、スクールカウンセラーの配置（道費）。
- ・いちごっ子応援会議等を開催（1回）した。
- ・ケース検討会議を開催（5回）した。

【事業成果】

- ・いじめアンケートにより、些細なことも含めた人間関係状況の把握ができた。
- ・スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーが当事者や学校と関係機関をつなぐ役割を果たすことで、幅広い支援ができた。
- ・適時、関係機関会議において情報共有することで、事案発生時の迅速な対応ができた。

【次年度への課題・展望】

- ・義務教育学校の利点を活かし、児童生徒に関わる大人を増やすことで、児童生徒がSOSを伝えることができる対象を増やす。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
学一8	給食内容改善事業（ピピカツ）	決算額	1,658,478円

事業の概要

【関連計画項目】：【学校教育】2重点4② 執行方針P8

【目的】

脳と体の健康に重要な情報伝達物質を活性化させるため、地元食材の積極的活用や効果的なミネラル成分の摂取を目指した給食を提供する。

【目標】

- ・周辺地域を含めた地元食材の積極的に活用（米を除く地元食材を1品以上使用した日数を50%以上。米を含めた日数を100%）する。
- ・基本調味料の全てを無添加調味料にする。

【実施内容】

○使用地元食材

米、米粉パン、卵、オクラ、アスパラ、だいこん、きくらげ、まいたけ、なめこ、いちご、いちごジャムパン、冬いちご、トマト、ミニトマト、とうもろこし、ブロッコリー、ジャガイモ、きゅうり、ピーマン、メロン、かぼちゃ、千本ねぎ

○無添加調味料

味噌、みりん、各種だし（いわし、あじ、昆布、かつお節）、砂糖、醤油

【事業成果】

- ・地元食材使用日数率を給食日数の55%（米を含む100%）にすることができた。
- ・基本調味料の全てで無添加調味料を使用した。
- ・保護者向け講演会「食品添加物と新型栄養失調」2回開催。

【次年度への課題・展望】

- ・冬期間の地元食材の確保をどうしていくか。
- ・さらなる地元食材の開拓を進める。
- ・成分分析を実施し、成分状態を確認する。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	学校教育係	関連計画	学校施設長寿命化計画
番号	事業名	事業費	

学-9	学校施設整備事業	決算額	930,241円
-----	----------	-----	----------

事業の概要

【関連計画項目】：学校施設長寿命化計画書（冊子） 執行方針P11

【目的】

・学校教育施設は、町の人口減少政策の核であるため、充実した教育が受けられるよう計画的な整備を行う。

【目標】

- ・施設長寿命化のため、大規模改修の時期などを定め実施する。
- ・老朽化している箇所を補修・補強し、学習環境を整備する。
- ・災害時の避難所施設として、防災・減災を強化できるよう防災担当部局と連携を図る。

【実施内容】

- ・特別支援教室（コスモス）エアコン設置 137,141円
- ・中庭外構整備 440,000円
- ・武道場遠赤暖房機修繕 353,100円

【事業成果】

- ・児童生徒が安心安全で快適に学校生活を送れる校舎整備を実施できている。

【次年度への課題・展望】

- ・施設の点検や保守管理を定期的に行い、適正な営繕と維持管理を行う必要がある。
- ・前期課程の校舎が老朽化しているため、外壁や屋上防水工事を計画的に進める必要がある。また、教室床面等の改修も必要となっている。
- ・体育館・武道場の空調整備を行い、避難所として活用できる施設とする。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	文化振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
社一1	学習支援事業	決算額	30,744円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】1重点2② 執行方針P12

【目的】

- ・児童の学力向上のため、学校長期休業期間に開催し学習の遅れ等を補完することを目指す。
- ・学校で体験できない体験を通じ、将来の自分をイメージできるよう成長を促す。

【目標】

- ・前期課程を対象に夏・冬休み期間中に「学習サポート」を開催。
- ・長期休暇期間以外の月曜日（全20回）5・6年生を対象に「ほくれい塾」を開催。

【実施内容】

- ・学校の「学習サポート」にボランティアを派遣。全3回、夏季休暇中1日天候不良のため中止。
- ・長期休暇期間以外の月曜日（全20回）に「ほくれい塾」を開講。全20回 14人

【事業成果】

- ・意欲的な学習意欲の向上が図れた子どもも散見された。
- ・通常授業ではできない個別指導により学力の遅れが一部解消された。
- ・様々な講義を体験し、生活していく上での経験値が増え、自分の将来に向けてのイメージをもつきっかけづくりを提供できた。

【次年度への課題・展望】

- ・学校学習サポートは、学校主催での開催となり、ボランティアの提供が主体となった。学生ボランティアは多数集まっているが、地域のボランティアが高齢化等により減少している。
- ・ほくれい塾は「体験」と「英会話」を中心に開催。参加者数が伸びていない。子どもたちに魅力のあるメニューを検討。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

B

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	文化振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
社-2	芸術鑑賞事業	決算額	1,418,211円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】1重点5② 執行方針P15

【目的】

町民に芸術・文化に親しむ機会の提供に努めること。

【目標】

- ・児童芸術鑑賞事業開催 全児童
- ・町民芸術鑑賞事業開催 150人参加

【実施内容】

- ・児童芸術鑑賞事業「めばえ寄席」公演（中央学校前期課程） 418,000円
- ・町民芸術鑑賞事業「本田雅人ドリームライブ」公演 184人 1,000,211円

【事業成果】

- ・児童に対しての日本の文化である「落語」を鑑賞と併せてワークショップ等も行ったことにより、芸能への造詣が深まった。
- ・町民に対し、世界トップレベルの演奏会を実施したことにより、芸術文化に対する興味関心を高めることができた。

【次年度への課題・展望】

- ・児童芸術鑑賞は、今後も北海道巡回小劇場事業を基本に学校とも公演団体の選定を行っていく。
- ・町民芸術鑑賞は、道外から公演者を招へいして実施するため、高額な公演料となるため、入場料等の徴収も検討していく必要がある。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	文化振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
社-3	公民館事業	決算額	213,506円

事業の概要

【関連計画項目】:【社会教育】1重点1②・3① 執行方針P13

【目的】

学校では経験できない遊びや社会的体験を通じ、非日常の楽しさを感じ、子供達個々の成長機会を提供する。

目標を持って物事に取り組むことにより、達成した際の喜び等を感じ、自己肯定感を高める。

地域ボランティアを活用し、子ども達へ将来、故郷「ぴっぷ」を回想できる機会を提供する。

【目標】

突哨山ツアー 20人参加 ボランティア活動 20人参加

子ども自然体験教室 20人参加

【実施内容】

- ・子ども自然体験教室「比布アドベンチャーズ」全2回（里山部 清水氏 72,851円）
- ・木工クラフト教室（森林環境贈与税基金繰入金活用事業 株ササキ工芸 63,800円）
- ・春の突哨山ツアー 40,000円
- ・秋の天体観測 6,980円
- ・新1年生交通安全マスコットづくり（ピピボラバンク 9,015円）
- ・9年生卒業を祝う会（ピピボラバンク 20,860円）

【事業成果】

・子どもたちは様々な体験活動を通じ、自然の尊さや楽しさを感じ、その中でコミュニケーション力を高めることができた。

・比布ではできない体験を経験することにより、文化に対する意識が向上した。

・地域ボランティアの協力を経て、子ども達へ「ぴっぷ」での思い出づくりが図られた。また子ども達への活動を通じて、地域コミュニティが図られた。

【次年度への課題・展望】

・引き続き自然体験事業は実施。子どもたちの自主性を高めるようなメニューを実施。

・ボランティア活動は、これまで活躍されていた方々中心で実施したが、今後、新たな人材の発掘が必要となってくる。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	文化振興係	関連計画	教育推進の重点
---------	-------	------	---------

番号	事業名	事業費	
社-4	図書館運営事業	決算額	6,631,940円

事業の概要

<p>【関連計画項目】：【社会教育】 1重点6 執行方針P15</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の効率的運営を維持するための管理業務の遂行。 ・利用者数の増を図るため、イベントや館内の整備。
--

<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数の確保 ・子どもの読書推進のためのイベント・事業開催 ・施設の維持管理

<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書購入 ・ブックスタート・ブックステップ ・ぶっくんライターコンクール ・各種イベントの開催（としょかんまつり・ぶっくんシアター・古本市・クリスマスイベント等）

<p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書購入 1,215冊 1,994,814円、雑誌、新聞等 825,281円 ・ブックスタート 20,130円、ブックステップ 26,641円 ・ぶっくんライターコンクール 13,866円 ・各種イベントの開催（4種） 109,108円 ・図書館情報システム更新 3,350,600円 自動ドア改修 291,500円

<p>【次年度への課題・展望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設も20年以上が経過し、老朽化が進んでいる。効果的な修繕の実施。 ・他市町村図書館との差別化（独自色の確立）。 ・郷土資料の収集。 ・利用状況を踏まえた図書館の運営方針検討。
--

<p>【事業評価・意見】</p> <p>開館時間の調査・研究や夏場のクーリングシェルターとしての活用周知について、検討願う。</p>	<p>【評価】</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
--	--

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	文化振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
社-5	白寿大学運営事業	決算額	115,913円

事業の概要

<p>【関連計画項目】：【社会教育】 1重点4② 執行方針P14</p>

【目 的】

生涯学習の観点に立ち、生きがいのある人生観の確立、高齢者の持つ豊富な経験と多彩な能力を生かし時代変化に応じた新しい知識を身につけるとともに高齢者相互の親睦を図る。

【目 標】

月1回の集合学習の実施 30人参加
社会見学の実施 30人参加

【実施内容】

集合学習 全10回開催
社会見学開催（エスコンフィールド北海道ほか北広島方面）

【事業成果】

様々なメニューを取り入れた結果、学習意欲の向上や生きがいづくりに一役担えた。
今年度から運営方法を変更。自治会を廃止し、運営委員会を設置。運営方針を協議することとなった。参加しやすい体制づくりを進めた。

【次年度への課題・展望】

多様化するニーズに対応した学習機会の提供と自主的学習活動の推進
新規加入者の確保や講義への参加者増に向けての学習メニューの検討。

【事業評価・意見】

特になし。

【評 価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	文化振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
社-6	文化財保護事業	決算額	310,380円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】1重点5③ 執行方針P15

【目的】

歴史的建造物である「旧鈴木邸」と郷土資料館の有効活用と適正な維持管理を行う。

【目標】

旧鈴木邸 200人
郷土資料館 50人

【実施内容】

旧鈴木邸 223人
郷土資料館 78人
施設維持管理費 310,380円

【事業成果】

旧鈴木邸は町内団体に貸し出しを行っている（手芸サークル）。

郷土資料館は、全面改修に向けて昨年度、実施設計を行ったが、施工にあたり、今後の町文化財、文化資料の取り扱いについて、再度検討が必要と判断し、改修は一時中止した。

【次年度への課題・展望】

引き続き維持管理に努める。

町文化財・文化資料の在り方について、方向性の検討が必要。次年度以降、文化財保護委員会を設置し協議していくこととなった。

【事業評価・意見】

郷土資料館の改修については、町民の意見を含めた再検討の場が必要と判断する。

【評価】

B

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	文化振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
社一七	放課後児童健全育成事業	決算額	33,918,067円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】1重点2③ 執行方針P13

【目的】

仕事等の留守家庭の放課後及び長期休業中における児童の健全育成と安全な居場所づくりを確保する。

【目標】

開所 285日 月平均40人

【実施内容】

開所 285日 月平均40人

事業費内訳 保育料 2,200,000円

人件費（報酬・手当・共済）11,427,110円

運営費（消耗品・食糧費等）1,574,591円

施設管理費（燃料費・修繕・光熱水費等）1,798,366円

青少年会館解体事業費（委託料・工事請負費）16,918,000円

【事業成果】

留守家庭児童の居場所として、定員以上の受け入れを行い、保育だけではなく学習や体験活動も実施し、健全育成、子育て支援を図れた。

学校内に移設し、施設の環境整備が図られ、また、受入人数も増加した。

【次年度への課題・展望】

低学年児童はほぼ利用を希望しており、安定的に運営していくには支援員の確保が課題。また、特別支援児童が増えており、対応が難しくなっている。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	スポーツ振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
スー1	運動による脳の活性化事業 (ピピカツ)	決算額	1,427,280円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】2重点1④ 執行方針P16

【目的】

脳の活性化に特化した運動教室を実施し、楽しみながら運動習慣を身につけ、生涯スポーツの普及を図る。

【目標】

- ・ 幼児以降の運動機会を設定（幼児・児童・生徒）する。
- ・ 楽しみながら運動機能が強化できる内容の教室を実施する。

【実施内容】

- ・ 幼児運動教室を実施（24回、参加者23人、委託料1,427,280円）。
- ・ 前期課程運動教室を実施（38回、参加者20人、地域おこし協力隊対応）。
- ・ 後期課程運動教室を実施（学校と調整し全18回 体育授業で地域おこし協力隊対応）。

【事業成果】

専門家の指導の下、運動前、運動後の脳に与える適正能力などを測定し、効果があることがわかり、各年代に合った運動機能強化内容を遊びの要素を取り入れたことで、参加者の主体的な活動につなげることができた。

【次年度への課題・展望】

- ・ 前期課程児童の参加者が減少している。
- ・ 運動が苦手な児童にも、運動に興味をもってもらえるような内容、周知方法を改善したい。
- ・ 参加者アンケートを実施し、ニーズを確認する必要がある。
- ・ 協力隊退任後の運営方法について検討が必要。

【事業評価・意見】

継続できる仕組みづくりが必要である。

【評価】

B

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	スポーツ振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
スー2	地域間交流促進事業	決算額	367,502円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】2重点1② 執行方針P16

【目的】

スポーツを通じた仲間づくりや世代間、地域間の交流を推進する。

【目標】

各種行政区交流大会を実施する。

【実施内容】

- ・全町親睦ミニバレーボール大会を開催（7行政区、22チーム）。
 - ・全町ソフトボール大会を開催（8行政区、11チーム）。
 - ・全町女性バレーボール大会を開催（6行政区、7チーム内混成1チーム）。
- （主な事業費：景品等 293,502円、審判謝礼等 74,000円）

【事業成果】

参加チームもコロナ過前に戻りつつあり、大会後に各地区で交流会も開催することができ、各地域で交流を深められた。

【次年度への課題・展望】

- ・高齢化に伴う参加者が減少している。
- ・参加者にアンケート調査を実施したところ、交流の機会として楽しみにしている方が多い。1チーム、1人でも多く参加できるよう、各地区の状況を見ながら検討する。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	スポーツ振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
スー3	スポーツ団体支援事業	決算額	898,000円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】2重点1③ 執行方針P16

【目的】

町のスポーツ環境を支える各団体の活動を支援する。

【目標】

各団体の活動に必要な経費の一部を支援。既存団体数を維持する。

【実施内容】

- ・ 体育協会運営費補助金を交付（620,000円）。
- ・ スポーツ少年団連絡協議会運営・保険料補助金を交付（278,000円）。

【事業成果】

各団体とも参加者数の減少により厳しい運営が続いているが、団体数は維持し、生涯スポーツを見据えて活動を続けることができている。

【次年度への課題・展望】

- ・ 役員、指導者の確保が課題となっている。
- ・ 団員、会員確保に向けたPRが必要である。
- ・ 部活動の地域展開を見据えた情報共有を行っていく。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	スポーツ振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名	事業費	
スー4	冬季スポーツ推進事業	決算額	530,620円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】2重点2 執行方針P17

【目的】

スキーのまちとして、町民が気軽に冬季スポーツを親しむ環境を整備する。

【目標】

- ・スキー大会を2大会以上実施する。
- ・スキー・スノーボード教室を3日間実施する。
- ・スキー授業等のリフト代を町費負担（全額）する。

【実施内容】

- ・ぴっぷスキー場GS競技大会を開催（参加者99人 補助金80,000円）。
- ・町民スキー大会を開催（参加者72人 景品・謝礼96,520円）。
- ・スキー・スノーボード教室を開催（3日間67人参加、講師謝礼延べ58人232,000円）。
- ・スキー授業・各教室・町主催大会の参加者経費負担（リフト代122,100円）。

【事業成果】

- ・ぴっぷGS大会は町スキー場のPRとなっており、また、町民スキー大会は技術レベルに関係なく気軽に競技に参加できている。
- ・お正月休みに家族でスキー場を利用していただけるよう、スキー・スノーボード教室を12月末に開催し、授業前に練習できたと好評だった。
- ・保護者負担なくスキー授業の回数を維持することができている。

【次年度への課題・展望】

- ・大会参加者が減少している。
- ・大会日程の工夫が必要である。
- ・スキー大会の競技役員（スキークラブ）の高齢化による競技役員の減少。

【事業評価・意見】

スキー教室の開催時期が適しており、家族でのスキー場利用につながっている。

【評価】

A

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	スポーツ振興係	関連計画	教育推進の重点
---------	---------	------	---------

番号	事業名	事業費	
スー5	室内遊び場整備事業	決算額	661,925 円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】2重点2② 執行方針P17

【目的】

- ・各種アンケートで要望が多い室内の遊び場を整備する。
- ・多目的室内運動場の夏季期間を有効活用する。

【目標】

- ・遊びながら運動できる場（運動用玩具の設置）を整備する。
- ・幼児から児童までが安心して遊べる場（幼児用エリア）を整備する。

【実施内容】

- ・遊びっぷを開設（5月～10月：利用者数320人、76日開館）。
- ・管理人人件費（661,925円）の経費で運営。

【事業成果】

- ・キッズバイク常設コース設置、幼児運動教室でも利用があり活用できている。
- ・町外者の利用もあった。

【次年度への課題・展望】

周知方法を工夫する必要がある。

【事業評価・意見】

特になし。

【評価】

B

令和6年度 事務事業点検・評価調書

事務事業実施係	スポーツ振興係	関連計画	教育推進の重点
番号	事業名		事業費
スー6	体育施設整備事業	決算額	35,885,160円

事業の概要

【関連計画項目】：【社会教育】2重点2② 執行方針P17

【目的】

安全にスポーツに親しむことのできる体育施設を整備する。

【目標】

施設整備計画等に基づき、体育施設を整備する。

【実施内容】

- 整備内訳 中央プール塗装補修（シャワー部分床）（176,000円）
 ぴっふ球場ピッチャープレート交換（134,200円）
 体育館・改善センターボイラー油面制御修繕（260,700円）
 体育館・改善センター身障者用トイレ自動ドア改修工事（237,600円）
 改善センター多目的ホール系統循環ポンプ取替修繕（110,660円）
 百年記念公園内ベンチ修繕（294,000円）
 町民テニスコート人工芝張替え工事（34,672,000円）

【事業成果】

長期的な体育施設利用が可能になり、気軽にスポーツに親しむ環境が確保できた。

【次年度への課題・展望】

- ・全ての施設において老朽化が進行している。
- ・有利な財源確保を図りながら計画的に整備を行う。

【事業評価・意見】

施設の計画的な改修が必要である。

【評価】

A

令和6年度 教育委員会議開催状況

開催月日	協議事項・議案等
------	----------

6年4月23日	報告事項 協議事項	令和6年度町・比布町行政機構図及び配置図について 外11件 令和6年度要・準要保護児童生徒の認定について
6年5月31日	報告事項 協議事項	教職員時間外在校時間等時間及び年次有給休暇等の取得状況 外12件 令和6年度要・準要保護児童生徒の認定について 外1件
6年6月17日	報告事項 協議事項	北海道議会議員文教委員会道内調査について 外12件 比布町学校運営協議会規則の一部改正について 外2件
6年7月29日	報告事項 協議事項	会計年度任用職員（放課後児童クラブ補助員）の任用について 外12件 令和6年度比布町文化賞・文化奨励賞の諮問について
6年8月30日	議案 報告事項 協議事項	令和7年度使用前期課程教科用図書の採択について 比布町郷土資料館の改修について 外16件 令和6年度全国学力・学習状況調査の公表について 外1件
6年9月30日	報告事項 協議事項	令和6年度町民文化祭の開催について 外10件 令和6年度比布町文化賞・文化奨励賞の答申について
6年10月28日	報告事項 協議事項	比布町文化奨励賞贈呈式の挙行について 外9件 比布町複合庁舎建設に係る図書館の運営機能について
6年11月21日	報告事項 協議事項	比布中央学校視察（共和町教育委員会）について 外5件 令和7年比布町成人式について 外1件
7年2月3日	報告事項 協議事項	スクールバス乗車範囲の変更について 外9件 令和7年度教育費関係予算（案）について 外10件
7年3月18日	報告事項 協議事項	高齢者叙勲（瑞宝双光章）の伝達について 外16件 令和6年度教育関係補正予算（案）について 外7件